

YES? NO? の、その先へ… (6月の学校だよりから)

学校長

本校では、社会の諸問題について考える中で、生徒の読解力や表現力の育成を図るため、NIE（新聞教育）に積極的に取り組んでいます。先日のNIE世論調査では、三重県桑名市の多度大社での上げ馬神事の記事を元に、生徒にYESかNOかを考えさせる活動を行いました。

この神事は、馬の坂の駆け上がり具合で、その年の豊凶を占うという約700年もの歴史をもつ行事だそうです。行事の際の骨折で馬が殺処分されていたという理由から動物虐待ではないかとの批判を受け、今年の神事で坂の最後に乗り越えていた壁を撤去したことを取り上げ、賛否を考えさせる記事でした。生徒と私たち職員も、ホワイトボードに用意されたYESとNOのマグネットを貼り付け、匿名で記事への賛否を意思表示し、世論調査の状況を可視化するとともに、生徒たちには記事への意見等をまとめさせ、担当からコメントを返すという活動でした。生徒の意見は、校長室前の廊下に掲示し、共有も図りました。

ところで、公益社団法人ACジャパンの広告、「たたくよりたたえ合おう」のラップCMをご覧になった方は多いのではないのでしょうか。コンビニのレジで、お財布からお金を出すのに手間取っているお年寄りと、次に並ぶ、見た目が少し恐く見える若者との意外なやりとりを見る度に、こんな寛容な社会に生きていたいと思わされる作品です。

最近、好きか嫌いか、合うか合わないか、そんな二項対立の分断で、他者を許せなかったり、時に「そこまで?」と思えるように相手を責めたりする話題が多いのではと感じます。しかし、様々な意見をもつ人がいること、自分と同じ意見でも違う視点でとらえている人がいること、違う意見でも「そうか!」と納得できる意見をもつ人がいることなどを知ることが必要で、敵か味方かを判断した瞬間に「もう聞きません」では、自分の視野がどんどん狭くなってしまわないのではと感じます。そんな空気が漂う時代に、本校のNIEタイムは貴重な学びの時間になっているととらえています。